

一般質問



金井田
議員

○佐賀県道筒井万賀里川線について

質 現在の原子力災害避難道路とされている佐賀県道筒井万賀里川線は、見通しが悪く通常行き来するのにも非常に通りにくい道路です。堅固な道路網の整備、命を守る道路の整備が急務と考えます。令和4年3月の市政一般質問で、この道路の整備について質問した際、市長答弁の中で佐賀県側の回答として、「佐賀県としては、避難道路としての整備はやらない」と答弁されました。佐賀県との協議は現在どのような状況になっているのか、お尋ねします。

防災課長 避難道路としての改良要望については、市議会のご協力をいただきながら、国、長崎県へ県道改良の要望活動を行っていることから、本市と佐賀県との直接協議は行っていないという状況です。

質 県が違うという思いもあられるとは思いますが、ぜひとも協議をしていただきたい。また、「避難道路としても今後も強く要望していく」と答弁されていました。市長の見解をお尋ねします。

市長 まずは道路の所在する唐津市との連携が必要ということから、唐

津市長と直接お会いして協議を行っています。唐津市としても道路の改良を佐賀県に要望しているとのことでした。

佐賀県と長崎県、それぞれの県庁においての協議が整うことが重要であると認識し、長崎県に対しても要望を重ねているところです。引き続き国の責任において筒井万賀里川線の改良を強く求めていきたいと考えています。

○モンゴル村の現状と今後の対策について

質 モンゴル村の施設活用と鷹島海底遺跡の保存活用、日本初の水中考古学研究所の施設誘致に向け、市長の見解をお尋ねします。

市長 モンゴル村の活用については、教育委員会と連携しながら保存庫の整備等をしていかなければと思っています。昨年10月に埼玉県で開催された全国史跡整備市町村協議会の大会において、水中遺跡保護の機運醸成への協力をお願いしました。また、今年は蒙古襲来をテーマとした元寇所縁のネットワーク事業への取り組み、水中考古学に関するイベント等への積極的な協力などを行い、水中遺跡保護、活用には可能性があることを全国に訴え、県との連携を図りながら、国に対し水中遺跡保護に関する専門調査機関の設置を要望していきたいと考えています。

一般質問



川下
議員

○ながさきピース文化祭2025の取り組みについて

質 この文化祭がもたらす経済効果について、過去の開催地の状況を伺います。

生涯学習課長 過去の開催地で公表されている経済波及効果の平均値は約154億円となっています。

質 開会式は佐世保市で行われ、全国から多くのお客が来ます。そのお客に本市に来てもらうツアー企画などの計画があるか伺います。

文化観光課長 来年の9月に向けて情報発信を強化し、「アジフライの聖地 松浦」や元寇を活用した観光コンテンツなど、松浦の魅力をさらに磨き上げ、誘客促進に取り組んでいきたいと考えています。

○メタバースを活用した人口に依存しない新たな収入のあり方について

質 メタバースについて市の認識を伺います。

総務課長 仮想的な世界やデジタル空間を指すものと認識しており、メタバース上で経済活動や交流を行うことができるものと承知しています。

質 人口減少による市の歳入面での影響はどのような所に表れますか。

総務課長 税収の減少が見込まれ、また市税の減少分を補填する普通交付税においても、人口を算定基礎とする項目が多いことから、大きな増加は期待できず一般財源の規模が縮小していくと認識しています。

質 収入の一つである地方交付税の算定にも人口が影響します。収入減は行政サービスの低下につながり人口減少にもつながります。人口が減少しても行政サービスを維持できるようなメタバースを活用した外からの収入を得る方法の模索が必要です。

ネット空間を活用したメタバース技術は、松浦にとって不利だった地理的問題を解決し松浦の魅力をストーリーに伝える事ができます。そこで次の二点を提案し市長の考えを伺います。

① ネット空間に鷹島海底遺跡など文化遺産を設置し海外の歴史好きをターゲットにしたマーケットを展開し新たな収入を得る

② ネット空間上に松浦市を作りネット住民に住んでいただき収入を得る

市長 メタバースについて研究をしていく必要性はあるかと思っています。現時点では行政として取り組むには環境が整っていないのではありませんかと考えており、情報収集をしっかりと行いながら、将来に備えていかなければならないと思っています。